



総務文教常任委員会

当委員会に本会議において付託された議案は、条例関係5件、平成26年度集中管理、生保内財産区・田沢財産区・雲沢財産区各特別会計予算4件、平成25年度集中管理、生保内財産区・田沢財産区・雲沢財産区各特別会計補正予算4件の計13件である。

また、予算常任委員会より平成26年度仙北市一般会計予算並びに平成25年度仙北市一般会計補正予算(第13号)の内、当分科会に係るものが分担された。

■議案第1号
総務部及び教育委員会に係る消費税法及び地方税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
消費税法上、一般会計で扱う事業は納付義務が生じない事になっているが、国や県の指導はどうなっているのか。また、他の自治体はどのように対応しているのか。
答 施設を維持管理するにあたって、費用の負担には消費

税が発生している。消費税本来の趣旨からして、適正な受益者負担、適正な転嫁をすべきという国の指導もあり、その方向で転嫁していく。

他の自治体の対応については、12月議会現在で聞き取りをした範囲では、ほとんどの市町村で料金改定を予定している。

●採決の結果
議案13件については、全会一致で原案を可とすべきものと決定した。

■議案第18号
平成26年度仙北市一般会計予算
総務部関係
問 地域運営体での提案型特別交付金とまちづくり協働条例に基づいた提案型の補助金内容がだぶっているのではないか。この性質の違いをどのように理解すれば良いのか。
答 運営体の提案型特別交付金は、各運営体または複数の運営体が連携して広域的に取り組む事業、あるいは、これまでの取り組みを拡大した先導的で他の運営体のモデルに

なり得る事業、その他市長が認める事業としている。まちづくり提案型補助金は個人・団体を対象にしており、運営体は補助対象にしていない。
問 特別交付金の狙いは何か。また、事業の内容によっては最大、上限900万円の交付になる事もあるのか。
答 500万円の枠の中では、それぞれバラつきがあり、事業を選択する際、事業の幅をフレキシブルに出来るような形が望ましいと考え、この枠を設けた。最大、上限の900万円になる場合もない訳ではないと考える。
問 まちづくり提案型補助金は、活性化を目指す上で個人・団体等に補助金を支出する訳だが、地域運営体の関わりも含め、あいまい且つ明確になり切れていない部分があるがゆえに、色々な問題・課題が発生するものと考えている。この際、自治基本条例を制定し、それぞれの役割等を明確にした上で進めて行く時期に来ているものと考えているか。
答 事例・事業を調査研究し検討していきたい。

教育委員会関係
問 武家屋敷や桜の管理の財源を、例えば観光客から募金

をして頂くなどの方法が考えられるが、この2つの管理に特定した財源の確保策についての考えを持っているのか。
答 良いアイデアと思うが、様々な面を含め、関係部署と十分に時間をかけて検討していきたい。
要望
歴史遺産を保存するため協力費として頂くべきでないか。
現存する桜をどう保護するか、全体的なものを含めて計画を検討して頂きたい。

■議案第36号
平成25年度仙北市一般会計補正予算(第13号)
繰越明許費の内、企業誘致対策事業費について質疑があった。
問 繰越の理由、補正の在り方について。
答 緊急性を持って補正計上

急ぐあまりに補正計上した結果で、このような状況になったものと考えている。腰を据えて事業実施すべきであり、今後、大きな事業に対する予算措置の在り方を検討すべきである。

意見

をしたが、諸々の事情により執行されず繰越明許とした。大変申し訳ない。



総務文教常任委員会審査風景

(田口寿宜記)



市民福祉常任委員会

本会議より付託された案件は、議案13件、予算常任委員会から分担された案件は、議案2件である。

■議案第2号

市民生活部及び福祉保健部に係る消費税法及び地方税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

問 クリオンの入湯料が消費税引き上げ後も同じ400円なのはなぜか。
答 入湯料には150円の入湯料が含まれている。400円から150円を引きさらに消費税額5%を引き、その額に増税後の8%分を足しても、増額が10円未満切り捨てになるので400円のままである。

反対討論

公共施設には、消費税法60条6項により消費税の納付義務がない。増税の中止を求め運動も展開していることから、本案には反対である。
賛成多数で可決

■議案第6号

仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について

■議案第8号

仙北市障害程度区分認定審査会の委員の定数を定める条例の一部を改正する条例制定について
共に全会一致で可決

■議案第12号

仙北市病院事業使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について

反対討論

公共施設には、消費税法10条6項により消費税の納付義務がないので反対する。
賛成多数で可決

■議案第23号

平成26年度仙北市国民健康保険特別会計予算
全会一致で可決

■議案第24号

平成26年度仙北市後期高齢者医療特別会計予算
平成26年度は保険料の改

正時期に当たるようだが、改正後の保険料の見込みはどうなっているか。

答 平成25年度の決算見込みによる剰余金は14億7800万円。それに県の財政安定化基金9500万円を活用することによって現行の保険率を維持できる見込みである。

反対討論

秋田県後期高齢者医療連合の特別会計では、51億円を超える収支差引残額があり、保険料の負担軽減に繋がらないので本案には反対である。
賛成多数で可決

■議案第25号

平成26年度介護保険特別会計予算

全会一致で可決

■議案第30号

平成26年度仙北市病院事業会計予算

問 公営企業法の会計制度見直しにより、平成26年度から退職される方を除く全職員の退職給付引当金繰入額等が計上され、予算の支出額が大幅に膨らんでいる。引当金の計上を義務化した理由は何か。

答 できるだけ民間の会計手法に近づけることと、将来の特定費用も含め、自治体で運

営する事業の経営状況を住民へ開示することが目的である。

問 角館総合病院資本的支出、建設改良工事費の35億3000万円の内訳は。

答 本体工事と外構工事を合わせて34億8394万円。他に、設計監理費、各種工事に伴う負担金等である。

問 病院建設に当たり、一般会計からの持ち出しはいくらになるか。

答 病院事業債は、元利償還の2分の1、過疎債は元利償還の7割が交付税算入となる。残りの2分の1、3割は病院事業で払うため、一般会計からの負担はない。

反対討論

田沢湖病院と角館総合病院の経営改善を求める。

賛成討論

病院の理念を不転の覚悟で徹底することを望む意見を付す。
採決結果
賛成3、反対3の同数となり、委員長裁決で否決

■議案第35号

平成25年度仙北市病院事業会計資本剰余金の処分について

■議案第41号
平成25年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

■議案第42号

平成25年度仙北市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

■議案第43号

平成25年度仙北市介護保険特別会計補正予算(第3号)

■議案第48号

平成25年度仙北市病院事業会計補正予算(第2号)
以上5件全会一致で可決

平成26年仙北市一般会計予算

市民生活部関連
民生費
福祉医療費2億2151万2千円

問 子どもに対する医療費の助成について、現在の適用範囲からの拡充をどのように検討されたか。



答 中学生通院分を検討した。財源確保が難しい。歯科通院分などを今後検討する。

衛生費

公共施設再生可能エネルギー等導入事業費1億6142万円

問 事業の内容は。

答 環境省の100%補助事業である。災害時の避難施設となる公共施設に再生可能エネルギーを活用した設備を導入する。市内12小中学校に夜間避難誘導のためのハイブリット街灯、神代出張所には太陽光パネル、角館交流センターのホールの照明LED化を予定している。

問 学校体育館などの避難所に蓄電設備が必要でないか。

答 内部も検討したが、増設は補助対象外となる。

消防費

問 災害時の避難場所と経路について自主防災組織を立ち上げてから検討したいとのことだが、事前に防災計画の中に入れるべきと考える。

答 避難場所を決めた後に、災害の状況に応じて避難手段や経路を検討する。自主防災組織を立ち上げ現地の細かい情報を得られるよう体制を作

り地域との連携を密にした

い。

問 消防団員不足解消に当たり、役所退職職員や経験者を災害時に動員してもらおうような体制は取れないか。

答 機能別消防団制度は検討したうえで取り入れたい。

問 火災が発生した場合、以前は防災無線やサイレンで住民に周知していたが、現在はどうなっているか。

答 火災を実際に確認してからサイレンを鳴らすようにしている。サイレンの前に分団長の連絡を入れていく。消防団の招集を早く行う方法を検討したい。

福祉保健部関連

高齢者世帯等除雪支援事業費1806万6千円

問 非課税世帯を対象に実施するようだが、周知の方法は。

答 市の広報や窓口等で周知する。今のところ市から直接案内することは考えてない。

問 利用券は、雪下ろしや排雪にも使えるように柔軟な対応が必要でないか。

答 あまり縛りの無い制度にしていきたい。

衛生費

仙北組合病院救急医療運営費

補助金730万円

問 組合病院の救急医療が不採算のための補助と説明を受けたが、角館病院も救急医療を行っているため同じような考え方にならないか。

答 角館病院は、救急医療の分として交付税が加算されている。組合病院は自治体病院でないためこれまで交付税参加がなかった。制度が変更となったため交付税に仙北組合病院分が加算されている。その支出である。

平成25年度一般会計

補正予算(13号)

障害者住宅整備資金貸付金300万円

高齢者住宅整備資金貸付金300万円の減額について

問 貸付の要件は。

答 高齢者に対する貸付は、高齢者、障害者の為の増改築が目的である。限度額が150万円で平面図等を提出いただいている。

問 連帯保証人の要件を仙北市内に限っているようだが緩和できないか。

答 制度が昔のままなので、今後検討したい。

(平岡裕子記)



産業建設常任委員会

本会議より付託された議案は24件、請願1件、予算常任委員会より分担された議案は2件である。

排水事業特別会計への繰入れについて

■議案第16号 平成26年度仙北市浄化槽事業特別会計への繰入れについて

■議案第17号 平成26年度仙北市簡易水道事業特別会計への繰入れについて

■議案第20号 平成26年度仙北市下水道事業特別会計予算

■議案第21号 平成26年度仙北市集落排水事業特別会計予算

■議案第22号 平成26年度仙北市浄化槽事業特別会計予算

■議案第29号 平成26年度仙北市簡易水道事業特別会計予算

■議案第31号 平成26年度仙北市温泉事業会計予算

■議案第32号 平成26年度仙北市水道事業会計予算

■議案第33号 平成25年度仙北市集落排水事業特別会計への

■議案第3号 平成26年度仙北市集落排水事業特別会計への

■議案第10号 仙北市森林総合利用施設条例の一部を改正する条例制定について

■議案第11号 仙北市温泉条例の一部を改正する条例制定について

■議案第14号 平成26年度仙北市下水道事業特別会計への繰入れについて

■議案第15号 平成26年度仙北市集落排水事業特別会計への

繰入れ額の変更について

■議案第34号

平成25年度仙北市水道事業会計資本剰余金の処分について

■議案第38号

平成25年度仙北市下水道事業特別会計補正予算(第2号)

■議案第39号

平成25年度仙北市集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

■議案第40号

平成25年度仙北市浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)

■議案第47号

平成25年度仙北市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

■議案第49号

平成25年度仙北市温泉事業会計補正予算(第2号)

■議案第50号

平成25年度仙北市水道事業会計補正予算(第3号)

■議案第51号

市道の変更認定について

■議案第52号

市道の認定について

◎上記24議案については全会一致で可と決定

■平成25年請願第4号

久保川第2本流改良促進に関する請願書

継続審査としていた本請願については、受益者及び地域住民と請願者の考えに相違があるなど、更に慎重な審査が必要を、継続審査とした。

■議案第18号

平成26年度仙北市一般会計予算

【歳出】

問 新年度からの国の農業政策はどのような認識で予算計上されているのか。

答 国の新しい農業政策として4つの改革を主としてしている。農地中間管理機構の創設、経営所得安定政策の見直し、水田フル活用とコメ政策の見直し、日本型直接支払い制度の創設の4つを目玉として改革を進めている。農地中間管理機構では農業公社の改革。経営所得安定政策では10アール当たり1万5千円が7500円になった。水田フル活用では飼料用米の作付けを重点的課題としてやる事になる。5万5千円から

10万5千円の範囲で数量に応じて実施していく。日本型直接支払い制度は、農地・水対策に変わるものとして約2500万円の予算を予定している。今後、転作の説明会を含めて進めていきたい。

問 木質バイオマス施設管理運営費について

国・県・メーカーに対して検証委員会からの報告が出てきた段階で、強く働きかけて、いつごろまで運転するのか、時間的に明確に示して頂かないと税金を垂れ流しするような予算は、認められないとの意見がある。市長の考えは。

■議案第36号

平成25年度仙北市一般会計補正予算(第13号)

【歳出】

問 企業誘致対策事業費について

企業誘致の進捗についての報告の中で、用地交渉は1人の所有者から内諾を得られていない。水の問題、まだ現地法人を立ち上げていない等色々問題を抱えている。急がないといけないとして委員会では補正予算を認めてきたが、今回繰越しとなると、当局では、補正予算のあり方をどのように考えているのか。最初からチームなり作って担当窓口も一貫して進めて

る対応である。報告書が提出された後にしっかりと協議を行いたいと思っている。すでに日程調整に入っている。

決断する時期が、具体的に6月補正予算の時に話せればいいが、そうでない状況が外部にもある事から時期の返答は差し控えさせて頂きたい。

計上している当初予算、約7600万円については認めて頂きたい。これを計上する事で国・県の事業メニューの作成にもプラスになると思っている。

問 企業誘致対策事業費について

企業誘致の進捗についての報告の中で、用地交渉は1人の所有者から内諾を得られていない。水の問題、まだ現地法人を立ち上げていない等色々問題を抱えている。急がないといけないとして委員会では補正予算を認めてきたが、今回繰越しとなると、当局では、補正予算のあり方をどのように考えているのか。最初からチームなり作って担当窓口も一貫して進めて

いれば、スムーズに事が運べたのではないかと。今後どういう体制にするのか。

答 昨年10月の臨時議会です算を認めて頂き、多くの課題があり、解決に至らなかった事はお詫びする。予算を認めていただいたおかげで多くの課題解決が出来た。交渉がまだ決着せず、結果繰越しとなった事は申し訳ないと思っている。

今回の事を反省し、来年度から商工課に窓口を一本化したい。案件によってはそれを支えるチームが必要である。市全体で支えあう仕組みを構築したいと考えている。

(熊谷一夫記)



きれいな牛舎で育つ仙北夢牧場の肥育牛たち